

第26回埼葛人権を考えるつどい ～出会い ふれあい 思いやり～

問合せ:企画財政課 人権推進担当 ☎ 991-1815
教育文化振興課 社会教育担当 ☎ 991-1873

人権の21世紀といわれる中で、埼葛市町の地域における人権問題に取り組む様々な団体が主体となり、行政とともに同和問題をはじめとしたあらゆる人権問題の早期解決に向けて、地域間の交流を通じて、地域住民の人権意識の高揚と正しい理解を図ることを目的に開催されます。この事業は「人権尊重社会をめざす県民運動」事業として実施するものです。

今年も、埼葛12市町の全児童・生徒が参加し、人権に思いを寄せたメッセージを形にした「10万人メッセージ」や「10万羽の折鶴」を会場内に展示します。平成23年度から毎年作成している「10万羽の折鶴」は、今年度で721,278羽になります。

皆様のご来場をお待ちしております。

■日時/10月12日(木)午前9時30分～午後4時 ※受付時間:午前9時～

■場所/越谷コミュニティセンター(越谷市南越谷1-2876-1)

■内容/【大ホール】児童・生徒・南越谷阿波踊り振興会による南越谷阿波踊り、幼稚園児による合奏・合唱、児童・生徒によるマーチングバンド、合唱、市民団体による民謡民舞、混合合唱、創作ダンス、朗読。
【ミニステージ】市民団体による民謡・三味線、手話と声による合唱、南京玉すだれ、よさこいソーラン

【展示】特別支援学校、埼葛12市町の人権共同展示等

【販売】福祉施設等の自主生産品等

松伏町からの出店団体

▶松伏町立かるがもセンター ▶社会福祉法人银杏会ゆめみの工房 ▶地域活動支援センター心

■費用/入場無料

■主催/人権啓発推進埼葛実行委員会



▲昨年の様子

松伏町史編さん事業の報告とご協力依頼

問合せ:教育文化振興課 社会教育担当 ☎ 991-1873

教育委員会では松伏町の原始時代から現代に至る歴史を調査して、「松伏町史」という本にまとめて未来に残す町史編さん事業を実施しています。この町史編さん事業の会議や調査結果等(2月から7月開催分)をお知らせします。

■事業報告

町史編集委員会(2月町史編さん事業の今後の予定策定)、
考古部会(3月今後の予定策定、5月土器等の実見)、
古代中世部会(4月今後の予定策定、7月資料編掲載方法等協議)、
近世部会(4月今後の予定策定)、文化財部会(4月文化財編刊行打合せ)、
自然部会(3月と4月ボーリング調査4か所、3月今後の予定策定、
6月進捗状況確認)

■松伏町史に使うため古いものの寄贈を受け付けています (寄託・一時預かりでも構いません)。

皆さんが所蔵の古文書(昭和40年代頃まで)、写真、広報(昭和43年以前)、その他古いもの(民具の一部以外)が松伏町史を作り上げます。古文書については、一点ごと専用封筒に入れて文書名を付記して目録とともにご返却します。

【寄贈者・寄託者紹介(4月受付分まで)】

田中地区・石川克彦様:写真寄贈、

松葉地区・鈴木和子様:古文書・写真・警察バッグ等寄贈、大川戸地区・N様:古文書寄託

※特に石川様寄贈の松伏領村役場の開庁写真(写真左)は大変貴重なものです。当時の役場庁舎は、現在の役場前交差点角の役場敷地の樹木が生い茂っているあたりにありました。写真は現在の交差点あたりから撮影したものです。



▲金杉地区ボーリング調査



▲大正10年松伏領村役場新築開庁式



▲昭和10年代吉川警察署